

令和5年度 中央区立泰明幼稚園 外部評価報告書

評価委員：藤井千恵子委員長、和地泰志委員、山本佐江子委員

報告書作成者：和地泰志委員

評価時期 令和6年3月

1 重点目標の評価

- (1) 重点目標1について（好奇心や探究心を引き出し、思考力の芽生えを育む）
- (2) 重点目標2について（他者との関わりや自然とのふれあいを通し、豊かな情操を育む）
- (3) 重点目標3について（のびのびと体を動かし、たくましい心と体を育む）

○昨年度の第三者評価委員より指摘があった、「重点目標時より評価指標を具体化して設定すること」を前向きに捉え実施したことで、保護者も園も同じ目的に向かって取り組んでいることが一年間を通して理解して教育活動が展開されたことで、保護者評価と自己評価が同様な評価を受けることができたと考えられる。

○現在受け身の子供が多く、相手の立場になって考える機会が減っている。幼稚園のうちから、自分の考えを伝えるだけでなく、相手のことを考えて発言する、行動することを身につけられるような教育の展開や家庭教育の支援を少人数ならではのことがあると考える。一人一人見えるからこそ、対話の方法を研究して実践してほしい。

○少人数のよさを生かし、動画撮影での発信方法や保護者が教育活動を体験する保育体験を実施したことで、より教育活動が見える形として伝わり、保護者の理解を深めることができている。

2 今後の改善に向けた意見

○単学級の5歳児というハンデを逆手にとり、フットワーク軽く様々な場に出掛けたり、交流活動を展開したりし、少人数であることを感じさせない経験をする事ができている。来年度は単学級の4歳児（新入園児）で今よりも少ない6名となるが、今までの取り組みを生かし、さらに工夫した教育活動の展開を期待する。

○未就園児の会を年間通して実施したことで、泰明幼稚園の教育活動を入園前に実際に体験したり見たりすることができ、興味をもってくくださる方が増えていることはとてもうれしく思う。来年度も続けていただき、広く知ってもらえるように工夫をお願いしたい。

3 その他の意見

○令和6年度より預かり保育、弁当給食がはじまる。全園同じ企業が入るということで、実施してよいこと、改善した方がよいところ等、学期ごとにあげていき、子供達のためによりよいものとなるようにしていってほしいと思う。大人の考えで進みがちなことであるため、企業と園・区がしっかり情報交換して進めていくことを期待する。